

# 想定問答集

	質問事項	簡単アンサー	補足説明
1	火災を発見しました。まだ、自動火災報知設備のベルは鳴っていません。どうすればいいですか？	大声で火災であることを周囲に知らせ、発信機のボタンを押します。	火災を発見した場合、周囲に早く知らせる必要があります。大声や自動火災報知設備のベルを鳴らすことで、有効に周囲に知らせることが出来ます。また自動火災報知設備と火災通報装置が設置され、連動している場合は、消防本部への119番通報が自動的に通報されます。
2	自動火災報知設備とはどのようなものですか？	火災が発生している可能性があることをベル等で知らせる設備です。	煙感知器、熱感知器により火災信号を受けた場合や火災を発見した人が発信機を押した場合、ベルにより全館に火災を知らせる設備です。
3	発信機とはどれですか？また、どのようなものですか？	自動火災報知設備を作動させるもので、火災を発見すれば、ボタンを押します。	自動火災報知設備のONスイッチのようなものです。発信機を押すと全館にベル音が鳴り響き、火災であることを知らせます。
4	(受信機・副受信機設置階)自動火災報知設備のベルが鳴りました。どうすればいいですか？	自身の階の受信機、副受信機の表示ランプを確認に行きます。	まず、どこで異常が発生しているかを、確認する必要があります。自動火災報知設備の受信機、副受信機の表示ランプを確認することで、異常の発生している階等が判ります。
5	(受信機・副受信機未設置階)自動火災報知設備のベルが鳴りました。どうすればいいですか？	付近の消火器を手持ちして受信機、副受信機設置階に表示ランプを確認に行きます。	初めから消火器を手持ちして出火階等に向うことにより、消火器を取りに戻る手間と時間を省きます。
6	自動火災報知設備に自階の表示ランプが点灯しています。どうすればいいですか？	大声で火災らしいことを周囲に知らせ、消火器を手持ちして各室の確認に行きます。	出来る限り入手した情報は、広く周囲に知らせ、早く火災が発生している場所を確認する必要があります。

## 想定問答集

7	自動火災報知設備に他階の表示ランプが点灯しています。どうすればいいですか？	火災通報装置が作動していることを確認し、大声で○階が火災らしいことを周囲に知らせ、消火器を手持ちして、出火階へ確認に行きます。	火災通報装置が作動していない場合は、火災通報装置の火災ボタンを押すか、119通報が必要です。火災が発生している場合、各階ごとではなく、建物全体の職員で対応します。出火階でない階の職員は出火階に応援に向います。
8	自動火災報知設備に天井裏の表示ランプが点灯しています。どうすればいいですか？	大声で天井裏が火災らしいことを周囲に知らせ、すぐに利用者の避難誘導に当たります。	天井裏が火災である場合、スプリンクラー設備のヘッドは設置されておらず、また、消火器で消火することも出来ないことから、早期の避難が必要です。
9	他の階から職員が応援に来ました、どうすればいいですか？	大きく声をかけ、状況の確認状況等を伝え、活動指示等を行います。	小さな声ではベル音により聞こえません。職員同士、大きな声で積極的に声を掛け合うことにより、緊張もほぐれ、スムーズな活動に繋がります。
10	居室等を確認するため扉を開けます。どのように開ければいいですか？	煙を吸わないように、姿勢を低く、扉を開けるときは、少しずつ開けるようにします。	一呼吸するだけで意識を失う煙もあり、また、居室内が猛炎の場合、炎が噴出してくる場合があります。それらから身を守るため、扉に隠れながら、低い姿勢での行動等をとる必要があります。
11	自動火災報知設備のベルが鳴り、居室を確認して回ります。居室内に利用者がいます。どうすればいいですか？	利用者に落ち着いて居室内にいるよう伝えます。	火災であるか判明していません。従って、利用者には落ち着いて居室内に待機させるか、安全な場所に集まっているよう伝えます。
12	出火している居室を確認に回るとき、非常口前に来ました。どうすればいいですか？	非常口の内側からの鍵を、開けておきます。	自動火災報知設備の作動と連動して開く、パニックオープン以外の非常口は、鍵は解錠しておく必要があります。これは、外部から消防隊が進入し活動する場合の活動支援になります。

## 想定問答集

13	居室で火災を発見しました。どうすればいいですか？	具体的に〇〇号室が火災であることを大声で周囲に知らせたのち、直ちに居室内の利用者を居室外に連れ出します。その後、手持ちしてきた消火器で初期消火を実施します。	火災を発見した場合、周囲に大声で知らせるとともに、利用者の人命を第一に行動する必要があります。それとともに、火災が小さいうちに出来るだけ早く、初期消火を行います。
14	別の階から出火階に応援の職員が到着しました。どうすればいいですか？	応援者に〇〇で火災が発生していることを知らせ、職員相互で声をかけあい、通報、消火、避難誘導を分担して実施します。	情報交換や活動指示等は自動火災報知設備のベル音、避難口誘導灯のアナウンス等が鳴動しており、声が届きません。しっかりと伝えるためには、大きな声とジェスチャーで指示等を行う必要があります。
15	消火器の使用方法は、どうすればいいですか？	ピン、ポン、パンで使用できます。非常に簡単です。	消火器を安全に消火できる位置まで搬送し、黄色のピンを抜き、ポンとノズルを外して炎ではなく、燃えている物(出火点)に向け、パンとレバーを握ります。消火器にメーター(ゲージ)が付いているものは、レバーを戻せば、途中で放射を止めることができます。メーターが付いていないものは、止められませんので、更に確実な消火が必要です。
16	初期消火の位置で気をつけなければならないことは？	避難可能な位置で初期消火を実施します。例えば居室の入口付近で初期消火を行います。	出火室内に入ってしまうと、煙にまかれることがあることから、入口付近から消火を行い、退路を確保しておく必要があります。
17	消火器の放射時間は？	15秒程度の間、消火薬剤が出ます。	15秒は非常に短いです。炎に向けて消火するのではなく、火元(燃えているもの)に確実に放射する必要があります。従って、使用前に、燃えている物を把握して、消火器を使用する必要がある。
18	消火器の放射距離は？	3mから6m、飛びます。	放射距離を考えて、少し離れたところから、燃えている物にホウキで掃くように消火します。

## 想定問答集

19	屋内消火栓(補助散水設備)の使用方法は？ パッケージ型消火設備の使用方法は？	元バルブ(開閉弁)を開放したのち、ノズルを持ち、火点へ向って、ホースを延長し、ノズルのコックを開放して放水します。	設置されている設備は、一人で利用できるものです。扉を開けて、まず開放弁を開放します。これにより自動的にポンプ等が起動し、継続的(長時間)に放水できます。
20	屋内消火栓(補助散水設備)等のホース延長距離は？	15mから20mのホースがドラムに巻いてあったり、収納されていたりしますので、ホース分延長がかのうです。	ホースを延長するときは、ノズルを持って火点に向えば、ホースはスムーズに延長できます。
21	消火器で消火が困難と思われる火災の状況は、どのようになったときですか？	天井まで炎が上がっている場合、消火困難と判断します。	消火器では、天井まで上がっている炎を消火する能力はありません。屋内消火栓等が設置されている場合は、更に屋内消火栓等により消火活動を実施することができます。
22	消火活動を断念したときの行動は？	消火が困難と判断した場合は、出火室の扉を閉めて、避難します。	出火室の扉を閉めることで、室内の煙と炎を遮断することができます。このことにより煙の拡散を防ぐとともに、出火室以外への延焼を防ぎ、燃焼に必要な空気の供給を断ちます。
23	(夜間)火災通報装置の赤電話が鳴っています。どうすればいいですか？	赤電話はそのままにしておき、初期消火、避難誘導等にかかります。	夜間等勤務職員が少ないときは、対応せず放置していても消防車は来ることとなっています。
24	(昼間)火災通報装置の赤電話が鳴っています。どうすればいいですか？	昼間は職員が複数名いることから、赤電話に出て、現在の状況を報告します。	赤電話により消防本部119番に情報提供することにより、消防本部から無線により消防隊へ情報が提供されます。この情報により活動の方針が各消防隊に示されます。出来る限り早く、把握した情報を報告する必要があります。

## 想定問答集

25	火災通報装置とはどのようなものですか？	火災通報装置の赤ボタンを押したとき、又は自動火災報知設備が作動したときは、自動的に記録された住所と建物名等を消防本部119番に通報する装置です。	火災が発生しても、消防への通報を忘れ、通報しなかったため、大火災となった事例が過去には多くあり、これを防ぐために、自動的に通報できる装置の設置が義務付けられました。
26	赤電話とは、どのようなもので、どのように使うものですか？	赤電話のベルが鳴り、呼び返し等がある場合等、消防本部119番と直接、話すことが出来る電話です。	火災通報装置が作動している場合は、応答確認ランプ(赤)が点灯します。録音されている情報の住所、建物名等が流れている場合、消防本部119番と話をすることが出来ません。話をしたい場合は、通話割込みボタンを押せば、流れている情報は中断され、話をすることが出来ます。
27	赤電話が鳴りました。昼間で人員に余裕があるので、電話に出て情報を入れようとしたのですが、ベル音がうるさく、消防本部119番と話が出来ません。どうすればいいですか？	自動火災報知設備のベル停止ボタンを押すことにより、装置のベル音を停止します。	受信機についているベル(主ベル)と施設全体のベル(地区ベル)とがあります。通常、ベル停止ボタンを押すことにより、主ベルを停止することで、消防本部119番の声が聞きやすくなります。地区ベルは簡単に止めてはいけません。しかし、それでも、地区ベルがうるさく話が出来ない場合は、地区ベル停止ボタンを押して施設全体のベル音を停止します。消防本部119番への連絡後は、地区ベル停止ボタンを再度押し、完全に安全が確認できた時点まで、警報を鳴動させます。地区ベル停止ボタンを押して、全館ベルを停止したままでも、6分後には自動的に再度鳴動します(再鳴動機能)。地区ベルの鳴動は、夜間であれば近隣にも聞こえ、近隣者の応援にもつながります。

## 想定問答集

28	火点の居室の扉を閉めていても煙が廊下、リビング部に出ました。どうすればいいですか？	排煙窓等がある場合、開放して煙を屋外に出します。	排煙窓を開放して煙を屋外に出します。避難誘導の時間をかせぐことができます。
29	排煙設備（排煙窓）とはどのようなものですか？	煙が廊下やリビングに流入してきている場合、煙を建物外に出す設備（窓）です。	火災により発生した煙の拡大を阻止・排出し、煙に巻かれることなく安全に避難できるよう、手動の開放装置を設けた窓などが設けられている場合があります。開放することで
30	煙の速度は？	水平方向には秒速0.3～0.8m、垂直方向には秒速3～5mで進みます。	水平方向は、人が歩く程度の速度。垂直方向は、階段では人間の6倍以上の速さで進みます。煙は高いところに溜まりますので、低い姿勢をとらなければ、煙を吸ってしまいます。
31	非常用照明とはどのようなものですか？	火災等により停電した場合に、通常の照明に替わって照明します。	災害が発生した場合、停電しても安全に避難できるよう、廊下や階段通路などに、非常用の照明装置が設けられています。ダウンライトのような形で、停電時に点灯します。
32	誘導灯、誘導標識とはどのようなものですか？	非常口等の避難する出口を示すものと、そこへ導く経路を示す矢印付きのものがあります。	誘導灯には避難口誘導灯と通路誘導灯があり、誘導標識はステッカーや板状のもので簡易なものです。自動火災報知設備と連動して作動する点滅機能または音声誘導機能付きのものがあります。
33	火点階の利用者を避難させる場合、どの居室の利用者から避難させるべきですか？	火点室に近い居室の利用者から順番に避難誘導を行う。	火点室に近いほど危険性は高く、危険性の高い居室から利用者を避難させます。
34	火点階の避難誘導の方向は？	火点と反対側にある避難口から屋外に避難誘導する。	避難のため、火点居室の前を通過して避難するようなことのないよう安全な避難口から避難します。
35	屋外などへの出入口の施錠等で注意しなければならないことは？	屋外に避難するため出入口の戸は容易に解錠できるようにしています。	災害時の避難のため、出入り口に物品を放置しないことはもちろん、非常時に容易に解錠できるようにしておく必要があります。

## 想定問答集

36	避難する場所は？	最終的には、屋外の安全な場所に避難しますが、猶予がない場合、一時的に屋内の安全な場所(避難階段の踊場、バルコニー等)に避難させ、その後屋外に避難させます。	一時的に避難する場所と最終的に避難する場所を常日頃から検討しておく必要があります。
37	火災時等の避難にエレベーターを利用できますか？	利用しません。	一般のエレベーターは動いていても、絶対に乗ってはいけません。火災階に止まって扉が開いてしまったり、火災に伴う停電のため、かご内に閉じ込められる危険があります。また、地震や火災がおさまった後もエレベーターは危険です。専門の技術者が点検を行うまでご使用しないでください。
38	利用者に避難を呼びかけましたが、なかなか起きて避難行動をとりません。どうすればいいですか？	無理やりでも安全な場所に避難させます。	火災の規模や状況によっては、無理やり避難させることも必要です。シーツを活用したり、襟首を持って引っ張るなどの強行手段をとる必要があります。利用者の身体状況により搬送方法も変わってくるため、適切な搬送方法を身につけておく必要があります。
39	3階建ての2階が火災である場合、どの階の利用者から避難誘導すればいいですか？	火点階の2階の利用者から避難誘導します。その後、火点階直上の3階の利用者を避難誘導します。その後、1階の利用者の避難誘導を実施します。	火災危険の高い階から避難誘導を実施します。夜間であれば、職員が少ないことから、1階、3階の職員もまず、2階の利用者の避難誘導に当たります。昼間で職員の手があるときは、2階の避難を優先に他の階の避難誘導も平行して実施することも可能です。
40	階の避難誘導が完了しました。その後、どうすればいいですか？	その階の全ての部屋を再度確認、調査し、避難済みの印(例えば赤色のガムテープ等)を確認が完了した部屋等の扉に貼付することにより、重複調査を避けます。	避難確認は、利用者がベッド横に倒れている場合もあることから、大きな声をかけながら、部屋の隅まで確認し、居室以外のトイレ、風呂場等も確認する必要があります。

## 想定問答集

41	消防本部119番に通報すべき内容はなんですか？	火災か救急か。発生場所の住所。建物名称。何階建ての何階か。出火している場所。避難状況、負傷者状況、その他現在の状況。	パニックになり、住所等を即答できない場合があるため、見えやすい位置に住所や建物名称などの情報を記載したメモを貼付しておく必要があります。
42	すごい揺れの地震が発生しました。まず、どのような行動をとればいいですか？	身に危険のないところ、具体的には、机の下等にもぐりこむみ、安全の確保を行います。	周囲にも注意を促すため、大声で「地震発生」と、各自に身を守るよう声をかけ、自らも身を守ります。上からの落下物から頭等、自分の身を守るため、机の下にもぐりこんだり、クッションで頭部を保護したり等の行動をとります。
43	地震の揺れが収まりました。どのような行動をとればいいですか？	周囲に落ち着くように声をかけるとともに、避難脱出経路を確保するため入口の扉を開け、火の元の確認を行います。	扉等が変形して開かなくなる可能性があることから、まず、避難経路の確認とその確保が必要です。また、火を使用している場合は確実に日の後始末を行い、地震による火災の発生を防ぎます。
44	屋外に利用者を避難誘導しました、近隣者が集まってきました。どうすればいいですか？	避難させた利用者を近隣者に見守りをお願いし、自分はもう一度屋内に残っている利用者の避難誘導にあたります。	近隣者の協力は非常に重要です。日頃から近隣者との関係を良好に保つ必要があります。日頃からの関係づくりを進めることで、相互理解を図り、信頼関係を醸造することに繋がります。「助けてもらう」だけでなく「地域の中で各介護施設ができること」を示していくことも大切な関係づくりの一つです。
45	屋外に利用者を避難誘導しました。近隣者もだれも応援に来ません。どうすればいいですか？	利用者の見守りを行い、携帯電話を所持していれば、消防本部119番通報を行い現在の状況を知らせる。	避難誘導した利用者のみにしておくのは、非常に危険です。近隣者がいないときは、1名は職員が残り、利用者の安全確保を行う必要があります。また、確保しているときは、時間があれば再度119通報し現在の状況を報告します。報告することにより、消防隊の活動が、消火を実施するか人命救助にあたるかの活動方針を決定するのに非常に有効です。

## 想定問答集

46	「スプリンクラー設備」とは、どのようなものですか？	スプリンクラーヘッドから水を散水し、火災を消火する設備です。	居室やリビング、階段室等に水を散水するスプリンクラーヘッドが設置されています。スプリンクラーヘッドにはヒューズのような蓋がしてあり、このヒューズが火災による高温で溶けることにより、スプリンクラーヘッドから水を散水します。誤ってスプリンクラーヘッドを損傷した場合、水が散水されませんので、スプリンクラーの水を止める制御弁の位置を職員全員が知っておく必要があります。
47	出火時の活動等のリーダーは、だれですか？	出火階の職員で、火災を発見した職員が、その時点でリーダーです。	火災を発見した職員は、一番火災状況等の情報をもっていることから、活動時のリーダーとして活動します。防火管理者やフロアリーダー等がいる場合は聞知している情報を報告し、リーダーを交代します。
48	消防隊が到着しました。貴方はリーダーです。どのような報告をすればいいですか？	出火場所や燃焼状況、避難の状況、負傷者の状況、建物内の状況等、消防隊が活動に必要な情報を提供します。	施設の人的、物的被害を最小限にするため、消防隊に確実な情報を提供する必要があります。しかし、到着した消防隊に建物構造や利用者の状況を説明することは非常に困難です。このため、各階の平面図(パウチしたもの)を準備しておくことは非常に有効です。平面図を使用して、「出火場所」「避難誘導済み居室」「避難誘導できていない居室」など具体的に場所を示すことができます。また、平面図と一緒に懐中電灯、軍手、タオルなどを同じ袋に入れて、備え付けます。備え付ける場所は、自動火災報知設備のベルが鳴り、一番最初に確認に行く自動火災報知設備の横に置いておけば、非常に有効に使うことができます。

## 想定問答集

49	「非常用の進入口」とはどのようなものですか？	3階以上の階に、設けられた消防隊が進入する入口です。	3階以上の階に、非常時に消防隊が侵入できる所定の非常用の進入口、またはそれに代わる窓があります。設置場所がわかるよう、赤色灯が屋外に設置されているものや、逆三角形の赤色のシールが窓ガラスに張ってあり外からわかるように、表示してあります。消防隊がそこから進入してくるのですから、その周囲に物品を放置したりしてはいけません。
50	火災が発生した場合、迅速に行動しなければならないことは何ですか？	<ol style="list-style-type: none"><li>1 早く見つける。</li><li>2 早く知らせる。</li><li>3 早く消す。</li><li>4 早く逃げる。</li></ol>	対応の順番は、火災の規模等により変わるが、最優先は、早く見つけるで、絶対に忘れてはならないのが、119番通報です。